

令和7（2025）年度博士前期課程（一般選抜・冬期試験）問題 目次

専門試験			ページ
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	1 - 2
		科学技術社会論	3 - 4
		臨床哲学	5 - 5
		中国哲学	
		インド学・仏教学	6 - 6
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	7 - 9
		西洋史学	10 - 10
		人文地理学	11 - 12
	文学コース	中国文学	
		英米文学	
		ドイツ文学	13 - 15
		フランス文学	16 - 17
		テキスト環境論	18 - 20
	比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	
日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学	21 - 22
		日本史学	23 - 31
		考古学	32 - 34
		日本文学・日本語史学	35 - 40
		基盤日本語学	41 - 41
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	
	美学・文芸学コース	美学	42 - 42
		文芸学	
	音楽学・演劇学コース	音楽学	43 - 45
		演劇学	46 - 48
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	49 - 52
		西洋美術史	53 - 56

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること
--

I 次の英語文全体を日本語に訳しなさい。

It would, I suppose, be universally admitted that time involves change. A particular thing, indeed, may exist unchanged through any amount of time. But when we ask what we mean by saying that there were different moments of time, or a certain duration of time, through which the thing was the same, we find that we mean that it remained the same while other things were changing. A universe in which nothing whatever changed (including the thoughts of the conscious beings in it) would be a timeless universe.

(John E. McTaggart, "The Unreality of Time", *Mind*, Vol. 17, No. 68 (pp. 457-474), 1908, p. 459, l. 9-l. 17)

II 次の独語文全体を日本語に訳しなさい。

Von den Grundproblemen der Methodologie, deren Behandlung für den Aufbau eines umfassenden Systems der Philosophie nicht entbehrt werden kann, bleibt jetzt nur noch die viel erörterte Frage, ob unser Erkennen „idealistisch“ oder „realistisch“ gedeutet werden muß. Leider ist der hier benutzte übliche Gegensatz vieldeutig, und zwar nicht nur erkenntnistheoretisch, sondern es sind mit ihm zugleich ontologisch verschiedene Ansichten verknüpft. Man kann sagen, daß alles Erkennen insofern „realistisch“ sei, als es einen vom erkennenden Subjekt „unabhängigen“ Gegenstand braucht, nach dem es sich zu „richten“ hat, und falls der Realismus nichts anderes als dies behauptet, wird niemand ihm widersprechen.

(Heinrich Rickert, *Grundprobleme der Philosophie*, Verlag von J. C. B. Mohr, 1934, S. 47, Z. 5-15)

III 以下の術語の中から、2項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で説明しなさい。

1. 第三の人間 (アリストテレス)
2. 機会原因論
3. 目的の国
4. ディオニュソスの
5. 自然主義的誤謬

IV 自由と必然について論じなさい。

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（科学技術社会論受験分野） 筆記試験
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）

注意 ①解答はすべて所定の解答用紙に記入すること ②問題用紙は持ち帰ること
--

I 次の英文を読み、日本語で5行程度で要約しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(Ruth Schwartz Cowan, *More Work for Mother: The Ironies of Household Technology from the Open Hearth to the Microwave* (English Edition), pp.136-137. Plunkett Lake Press. Kindle 版.)

(2 枚目／2 枚中)

Ⅱ 以下の語句の中から、3 項目を選択し、その番号を記した上で、各項目について日本語で 3 行程度で解説しなさい。

- 1 作動中の科学 (science in action)
- 2 予防原則
- 3 エンハンスメント
- 4 科学技術・イノベーション基本計画
- 5 錬金術

Ⅲ スポーツと科学技術の関係について、論点を整理したうえで、自らの考えを日本語で論述しなさい。その上で、その要約を 5 行程度の英文で書きなさい。

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻（臨床哲学受験分野） 筆記試験
[問題用紙が1枚・添付資料が1枚、全部で2枚です]

- 問題1 別紙資料は「死ぬ権利」について考察した論文の一部である。この文章を読んで、
- ① 死ぬ権利への批判と容認されうる点について、著者が挙げている論点を簡潔に要約した上で、
 - ② 死ぬ権利に関するあなたの考えを述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
鎌田学「「死ぬ権利」はフィクションか：安楽死の是非をめぐって」、弘前学院大学文学部紀要、第40号（2004）、15頁左27行目～16頁右22行目。なお、論文中の注は（本問題とは大きな関係がないため）省略してある。

- 問題2 次の英文を読んで、日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
Shlomit C. Schuster, *Philosophy Practice : An Alternative to Counseling and Psychotherapy*, Praeger Pub, Kindle 版, 1999.

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 （インド学・仏教学受験分野） 筆記試験
（1枚目／1枚中）

語学辞書使用可

1 古代インド文化の前史はいかにして再建しうるか、またそれによって古代インド文化の理解はいかに進みうるか、研究上の課題やその解決方法も含めて具体的に論ぜよ。

2 次の項目をできるだけ詳しく解説せよ。

- 1) dyāvapṛthivī
- 2) anīṭ語根
- 3) buddha
- 4) tṛṣṇā

3 次の文を正確に和訳せよ。

（出典：『ナラ王物語』）

upāyo 'yaṃ mayā dṛṣṭo nirapāyo nareśvara |
yena doṣo na bhavitā tava rājan katham cana ||
tvam caiva hi naraśreṣṭha devāś cendrapurogamāḥ |
āyāntu sahitāḥ sarve mama yatra svayaṃvaraḥ ||

4 次の (a), (b) のどちらかを正確に和訳せよ。

(a) （出典：『ブリハッド・アーラニヤカ・ウパニシャッド』）

ātmaivedam agra āsīt puruṣavidhaḥ. so 'nuvīkṣya nānyad ātmano 'paśyat. so 'ham asmīty agre
vyāharat. tato 'haṃnāmābhavat. tasmād apy etarhy āmantrito 'ham ayam ity evāgra
uktvāthānyan nāma prabrūte yad asya bhavati. sa yat pūrvo 'smāt sarvasmāt sarvān pāpmana
auśat tasmāt puruṣaḥ. oṣati ha vai sa taṃ yo 'smāt pūrvo bubhūṣati ya evaṃ veda.

(b) （出典：『テーラ・ガーター』）

nābhinandāmi maraṇaṃ nābhinandāmi jīvitam,
nikkhipissaṃ imaṃ kāyaṃ sampajāno patissato ||
nābhinandāmi maraṇaṃ nābhinandāmi jīvitam
kālaṃ ca paṭikañkhāmi nibbisaṃ bhatako yathā. ||

令和 7 (2025) 年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 (東洋史学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は 3 枚です。]
(1 枚目/3 枚中)

[問題用紙は 3 枚です。I～IV について、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

I 論述問題

次の 4 問から 1 問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

1. アジアにおける出版文化について、複数の事例を挙げつつ、述べなさい。
2. 東アジアにおける仏教の受容と変容について、具体例を挙げつつ、述べなさい。
3. 13～14 世紀におけるユーラシア東西の経済的交流について、述べなさい。
4. 19 世紀東アジア (東南アジアを含む) における自由貿易体制の拡大過程と、その歴史的意義について、具体的な貿易港の名前に触れつつ説明しなさい。

II 基礎事項問題

次の (a) ～ (e) の事項について知るところを、それぞれ 2 行程度で簡潔に答えなさい。

[問題 I とは別の解答用紙を用いること]

- | | | |
|----------|----------|--------------------------|
| (a) 光州事件 | (b) 五銖銭 | (c) マハーバーラタ Mahābhāratam |
| (d) 森安孝夫 | (e) 『申報』 | |

(2 枚目/3 枚中)

Ⅲ 英語問題

次の英語の文章を、すべて現代日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【Chakrabarty, D. and Saussy, H., “Afterword: The act of comparing (both sides, now),” in Pollock, S. and Elman, B. eds., *What China and India once were* (New York: Columbia University Press, 2018), p. 316, ll. 1-18】

IV 漢文問題

次の漢文は、清代の王鳴盛が著した『十七史商榷』巻 25・漢書 19・礼記である。これを読んで、語注も参照しつつ、下の問いに答えなさい。



語注)

魯共王 (?-128BCE) : 前漢景帝の子、劉餘。魯恭王ともいう。

鄭氏 : 後漢末の有名な儒学者、鄭玄 (127-200) のこと。

大小戴 : 前漢の戴徳・戴聖の二人を指す。いずれも今文經学の研究で著名。

問 1 1 行目「藝文志」～2 行目「即有礼記」の部分、すべてひらがなで書き下しなさい。

問 2 2 行目「河間献王」～5 行目「未必同」までの部分、すべて現代日本語訳しなさい (日本語常用漢字を使用すること)。

令和7（2025）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻（西洋史学受験分野）筆記試験

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目/2枚中）

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝間の記号や番号も記すこと。

設問1. 次の①と②の問いから1つを選択し、解答用紙1枚程度で答えなさい。

- ① 移動手段や交通網の発達とは社会をどのように変えたのか。西洋世界の歴史上の事例をあげて論じなさい。
- ② 新たな技術が歴史学の方法に変化をもたらした事例をひとつ取りあげ、その効果と課題について述べなさい。

設問2. ①～⑥の語句のなかから2つを選択し、それぞれ150字程度で説明しなさい。

- ① ローマ化
- ② 異端審問
- ③ ナント王令（1598年）
- ④ 環大西洋革命論
- ⑤ 1924年の移民法
- ⑥ カール・マルクス

設問3. 問題用紙2枚目の文章は、Clare Midgley, “Anti-slavery and the roots of ‘imperial feminism’” in Clare Midgley (ed.), *Gender and Imperialism*, Manchester and New York: Manchester University Press, 1998, p. 163, l. 12-p.166, l. 28 からの抜粋です。この文章を読んで、次の問①～③に答えなさい。

- ① 反奴隷制運動に参加した女性と19世紀後半のフェミニストの人種に対する考え方の違いを説明しなさい。
- ② 反奴隷制を推進した女性の活動と19世紀後半のフェミニスト運動の関連性を説明しなさい。
- ③ 括弧で囲んだ(a)～(d)の部分について日本語で訳しなさい。

（英文の問題文は著作権の関係で掲載しておりません）

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 （人文地理学受験分野）筆記試験
〔問題用紙は2枚です。〕
（1枚目/2枚中）

（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）

以下の問1～問3に答えなさい。解答は解答用紙に記入のこと。

問1

次の(a)～(f)は、人文地理学に関連する用語を挙げたものである。これらの中から一つを
選んで簡潔に説明しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- | | |
|--------------|-------------|
| (a) 社会関係資本 | (b) ポスト生産主義 |
| (c) 空間的自己相関 | (d) 環境決定論 |
| (e) 農村空間の商品化 | (f) 文化論的転回 |

問2

次の(a)～(d)の問いの中から一つを選んで解答しなさい。なお、選んだ問いのアルファベ
ットを明記すること。

- (a) アメリカ大陸の先住民による地図作成の運動とその課題について、説明しなさい。
- (b) 世界都市としての東京の位置づけとその社会経済の変化について、説明しなさい。
- (c) 1980年代以降の日本人の国内観光行動の変化と、それが国内の観光地に与えた影響について説明しなさい。
- (d) 2000年代以降の世界の農産物貿易の変化と、それがグローバル・サウスに与えている影響について説明しなさい。

(2枚目/2枚中)

問3

次の英文はある学術論文の要旨の全文である。これを読んで、下の問い(問ア・問イ)に答えなさい。

[問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。]

Yiping Li, Chammy Lau & Ping Su (2020): Heritage tourism stakeholder conflict: a case of a World Heritage Site in China, *Journal of Tourism and Cultural Change*, DOI: 10.1080/14766825.2020.1722141 中の Abstract 全文。

問ア

上の英文中の下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問イ

上の英文中の下線部(2)について、世界遺産を一つ選んで、そこで起こっている事例について説明しなさい。

令和7(2025)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基礎日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程／一般選抜・冬期試験)入学者選抜試験問題

人文学専攻 (ドイツ文学受験分野) 筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

(1枚目/3枚中)

問題1 以下のドイツ文を読み、設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典 Rötzer, Hans Gerd: *Märchen*. Bamberg: Buchners 1981, S.63/Z.2-23.)

設問1 下線部を日本語に訳しなさい。

設問2 ここでは、*Märchen* 研究史にあらわれたふたつの異なった立場が紹介されています。それぞれどのような見解なのか、わかりやすく説明しなさい。

(2枚目/3枚中)

[外国語 英語]

問題2 以下の英文を読み、あとの設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

(出典 Minden, Michael: *Modern German Literature*. Cambridge: Polity Press 2011, p.48/1.1-18.
本文を一部改変)

設問1 下線部を日本語に訳しなさい。

設問2 ここで概観されている1815年から1848年にいたるドイツの社会文化史的状況について、知るところを述べなさい。

(3枚目/3枚中)

問題3 以下のテーマからひとつを選び、ドイツ語で自由に論じなさい(200語程度)。

1) Journalismus

2) Klimaveränderung

3) Verkehrsmittel

令和7(2025)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・冬期試験)入学者選抜試験問題
人文学専攻(フランス文学受験分野)筆記試験
[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

問1 次の文章の「」で囲まれた部分を日本語に訳しなさい(本文中の注2、3は、それがプルーストの小説『失われた時を求めて』からの引用であることを示す)。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【出典】Gérard Genette, « Proust Palimpseste », *Figures I*, Paris, Seuil, 1966, p. 40, l. 7 –
l. 21.

注) équivalent : 等価物 reminiscence : レミニサンス (過去の事象の突然の想起)
pérennité : 永続性 équivoque : あいまいさ

[1枚目/2枚中]

(2 枚目/2 枚中)

問 2 次の問いにフランス語で答えなさい。

Présentez le sujet de recherches que vous voulez étudier en master.

問 3 【外国語（英語）筆記試験】 次の英文を日本語に訳しなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

【出典】 James Phelan, *Experiencing Fiction: Judgments, Progressions, and the Rhetorical Theory of Narrative* (The Ohio State UP, 2007), p. 153, l.10-l.17.

[2 枚目／ 2 枚中]

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 （テキスト環境論受験分野） 筆記試験
[問題用紙は 3 枚です。]
（1 枚目／ 3 枚中）

- I “What is Literature and Does it Matter?” と題された章からの引用である次の英文を読み、後の問い（イ）（ロ）に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：Jonathan Culler, *Literary Theory: A Very Short Introduction* (Oxford UP, 1997, p. 27, l. 27 – p. 28, l. 20)

（イ）括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

（ロ）下線部の “two different perspectives” から見たとき、大学院でのあなたの研究対象を “literature” たらしめているものは、それぞれどのようなものだと考えられるか。あなたの研究対象からできるだけ具体的に例を挙げながら、日本語で述べなさい。

Ⅱ 下の文章を読んで、翻訳された詩の工夫や改変について、原文の詩と比較しながら分析して論じなさい。

出典は、蒲原有明『独絃哀歌』(白鳩社、1903)、pp.94-5 及び Christina G. Rossetti, *Poems* (London: Macmillan, 1897), p.339, p.106 です。右下には、参考資料として同じ Christina G. Rossetti が “One Sea-side Grave” (1884) よりも前に詠んだ “After Death” (1862) を掲げています。

三 海邊の墓
(クリスチナ・ロセッティ)

おもひもいでず 薔薇さへ、
おもひもいでず うばらさへ、
さても 麥刈つかればて
積みし穂によりねぶること、
しかせむわれも 黎明まで、
寒きは寒き 臘月の
過ぎしはゆきし 目のごとき
その間も一人われをおもふ、
世はみな忘れはつるとも
なほ一人のみわれを憶ふ。

うばら：いばらのこと

臘月：12月のこと

AFTER DEATH.

SONNET.

ONE SEA-SIDE GRAVE.

UNMINDFUL of the roses,
Unmindful of the thorn,
A reaper tired reposes
Among his gathered corn :
So might I, till the morn !
Cold as the cold Decembers,
Past as the days that set,
While only one remembers
And all the rest forget,—
But one remembers yet.

THE curtains were half drawn, the floor was swept
And strewn with rushes, rosemary and may
Lay thick upon the bed on which I lay,
Where through the lattice ivy-shadows crept.
He leaned above me, thinking that I slept
And could not hear him ; but I heard him say :
“ Poor child, poor child : ” and as he turned away
Came a deep silence, and I knew he wept.
He did not touch the shroud, or raise the fold
That hid my face, or take my hand in his,
Or ruffle the smooth pillows for my head :
He did not love me living ; but once dead
He pitied me ; and very sweet it is
To know he still is warm though I am cold.

strewn: untidily scattered

rushes: tall plants that grow near water

may: a thorny plant, hawthorn

lattice: a structure made of strips of wood material which cross over each other diagonally
leaving holes in between

shroud: an enveloping garment in which a dead person is wrapped for burial

ruffle: to disorder or disarrange something by running one's hands through it

Ⅲ 次の文章は、梶井基次郎の小説「冬の日」の一部です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典

『梶井基次郎全集 第一巻』、筑摩書房、一九九九年十一月、一三七頁～一行目・一三九頁（五行目）

煖——赤く熱した炭火。まきなどが燃えて炭火のようになったもの。

水準器——水平面あるいは鉛直面を定めたり、物体の角度や傾斜を調べたりするのに用いる器具のこと。水平器。

死灰——火の気が無くなり冷たくなった灰。また、生気を失ったもの。

問

(イ) 傍線部(1)について、「自分が敏感な水準器になつてしまったのを感じた」とはどういうことか。本文に即して論じなさい。

(ロ) 傍線部(2)について、「彼の足はもう進まなかつた」のはなぜだと考えられるか、説明しなさい。

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻（現代日本学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は2枚です。]
(1枚目/2枚中)

以下の〔Ⅰ〕～〔Ⅳ〕に日本語で答えなさい。

〔Ⅰ〕 日本研究の観点から、「戦争」について論じなさい。

〔Ⅱ〕 次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で説明しなさい。

- (1) 山片蟠桃 (2) 内国勸業博覧会 (3) 御真影 (4) 鶴見俊輔
- (5) 色川大吉 (6) サンフランシスコ体制 (7) 「方法としてのアジア」 (8) 難民条約
- (9) 湾岸戦争 (10) 多文化共生 (11) 人種主義 (12) ジェンダー規範

〔Ⅲ〕 次の3問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 近現代日本の思想史において、雑誌メディアが果たした役割について、具体例を挙げながら論じなさい。
- (2) 戦後日本の「聞き書き」について、具体的な作品を一つ以上挙げ、その方法的特徴と時代背景を論じなさい。
- (3) 近現代日本の結婚制度について、ジェンダーの観点からその変化と特徴について論じなさい。

(2 枚目/2 枚中)

〔Ⅳ〕 次の文章は、Laura Hein ed. *The New Cambridge History of Japan*, vol.3, Cambridge University Press, 2023 の一節 (35 頁 5 行目～36 頁 4 行目) である (作問の都合上, 注を省略した)。これを読んで, 以下の問いに日本語で答えなさい。

1. 下線部を日本語に訳しなさい。
2. 日本占領の特徴について, 文章を参考にしつつ論じなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。

出典は問題文のとおりです。

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 （日本史学受験分野） 筆記試験

[問題用紙は9枚です。]
(1枚目／9枚中)

【注意】設問（I）については、解答用紙は縦長に使い、横書きで解答して下さい。

（I）外国語問題

次の英文は、1999年10月3日付ニューヨーク・タイムズの記事の一部である。この文章を日本語に訳しなさい。[15点]

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【出典：POLLACK, A., 1999, Oct 03; *Akio Morita, Key to Japan's Rise As Co-Founder of Sony, Dies at 78: [Obituary (Obit)]*. New York Times, 1】

(問題文は次に続く)

(二枚目／九枚中)

【注意】設問(Ⅱ)～(Ⅴ)については、解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(Ⅱ) 次の問いに答えなさい。

[25点]

古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における土地開発を一つずつ取り上げ、その内容と歴史的意義について具体的に述べなさい。

(Ⅲ) 次の歴史的な名辞(Ⅰ)～(Ⅳ)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえて説明しなさい。

[15点]

- (Ⅰ) 陣定 (Ⅱ) 御成敗式目 (Ⅲ) 高家 (Ⅳ) 普通選挙法

(問題文は次に続く)

(三枚目／九枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)～(4)のうち、二つを選んで答えなさい。

[30点]

(1) 次の史料は、『続日本紀』宝亀四年(七七三)三月己丑(十四日)条で、常平の制に関するものである。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【青木和夫ほか校注『新日本古典文学大系15 続日本紀4』(岩波書店、一九九五年) 四〇二～四〇五頁】

- ①傍線 a を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしない。
- ②傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしない。
- ③この史料全体の趣旨を簡潔に述べなさい。

(問題文は次に続く)

(四枚目／九枚中)

- (2) 次の史料は、東京大学史料編纂所編『大日本史料 第七編之二十四』(東京大学史料編纂所、一九八四年)四一三頁からの引用である。『看聞日記』応永二十三年(一四二六)七月五日条を読んで、①～②の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【東京大学史料編纂所編『大日本史料 第七編之二十四』(東京大学史料編纂所、一九八四年)四一三頁】

- ① 傍線 a を漢字・平仮名交じりの書き下し文にし、現代語訳しなさい。なお、割書の部分は書き下し・現代語訳ともにしなくてよい。
- ② 傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にし、現代語訳しなさい。

(問題文は次に続く)

(五枚目／九枚中)

- (3) 次の史料は、鹿児島県歴史資料センター黎明館編『鹿児島県史料 旧記雑録後編五』(鹿児島県、一九八五年)所収のものである。この史料を読んで、①と②の問いに答えなさい。なお、「永井信州」は永井尚政、「松平大隅守」は島津家久のことである。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【鹿児島県歴史資料センター黎明館編『鹿児島県史料 旧記雑録後編五』(鹿児島県、一九八五年)四七一頁】

- ①この史料の「尊書」から「猶期後音之時候」までを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしてください。
- ②この史料の「尊書」から「謹言」までを現代語訳してください。

(問題文は次に続く)

(六枚目／九枚中)

- (4) 次の史料は、大正三(一九一四)年八月に、山県有朋が大隈重信首相、加藤高明外相、若槻礼次郎蔵相の三人に宛てた意見書の一部である。この史料を読んで、①く③の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【大山梓編『山県有朋意見書』(原書房、一九六六年)三四一〜三四三頁】

- ①傍線 a について、山県は何の事件に対する日本のどのような政策について批判しているのか。史料に即して述べなさい。
- ②傍線 b の間、日本の経済にはどのような変化が生じたのか。知るところを簡潔に述べなさい。
- ③傍線 c の山県の主張の特徴について述べなさい。

(問題文は次に続く)

(七枚目／九枚中)

(V) 次の設問(1)～(3)のうち、一つを選んで答えなさい。

〔15点〕

(1) 次の古文書の全文を、漢字・平仮名交じりの書き下し文にきなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【「神護寺 頼朝寄進状」(寿永三年「一二三三九」四月八日)、東京国立博物館・読売新聞社編『創建一二〇〇年記念特別展 神護寺―空海と真言密教のはじまり―』(読売新聞社・NHKプロモーション、二〇二四年)九一頁】

(問題文は次に続く)

(八枚目／九枚中)

- (2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立公文書館内閣文庫編『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第八九巻 雜留(二)』(汲古書院、一九八八年) 一八四頁下段】

(問題文は次に続く)

(九枚目／九枚中)

- (3) 次の史料は、明治二九（一八九六）年七月十四日に、高平小五郎在澳特命全權公使が西園寺公望臨時外務大臣に宛てた公信の一部である。この史料の「 」で囲んだ部分について、見取書（くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと）を記しなさい。

前次帝國各領事館照會地中
瑞雪、都府、石、元、議、裁、各、其、同、國、
在、一、之、(Zürich) 府、并、都、府、同、國、同、美、
國、出、入、場、如、之、生、業、之、消、費、也、有、
又、同、國、(Geneve) 府、并、都、府、之、對、
美、國、出、入、場、如、之、可、計、之、製、衣、衣、他、
有、其、付、在、故、付、之、照、會、地、中、之、照、會、
事、本、自、名、各、領、事、館、各、之、上、武、照、會、
館、之、收、是、其、方、可、然、之、致、極、其、出、以、報、
復、中、性、其、致、具、
昭、示、其、事、上、可、也、
在、澳、國、
時、任、領、事、館、公、使、高、平、小、五、郎、
臨、時、外、務、大、臣、西、園、寺、公、望、

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 （考古学受験分野） 筆記試験
〔問題用紙は3枚です。〕
（1枚目/3枚中）

問1 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- （1）全文を日本語に訳しなさい。
- （2）下線部①について、遺跡名と調査者名をそれぞれ複数あげて、詳しく説明しなさい。
- （3）Fig. II（2枚目）で示された図について、その内容を詳細に解説しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Mortimer Wheeler 1956, *Archaeology from the Earth*, Penguin Books, p.70, ll.1-23.

(2枚目／3枚中)

問題文(挿図)は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Mortimer Wheeler 1956, *Archaeology from the Earth*, Penguin Books, p.21, Fig. II.

問2 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 全文を日本語に訳しなさい。
- (2) ここで述べられているような現象に当てはまる日本及び日本以外の考古事例を一つずつあげ、その内容をそれぞれ200字程度で具体的に示しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

V. G. Childe 1945, Directional Changes in Funerary Practices During 50,000 Years, *MAN*, Vol. XLV, The Royal Anthropological Institute of Great Britain and Ireland, p. 17 Column Right ll. 30-37.

(3枚目／3枚中)

問3 1950年頃までの弥生時代にかんする調査研究の歴史について、研究者や資料の名を示しながら詳しく述べなさい(800字以上)。

問4 次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

- (1) 酸素同位体比法
- (2) 二里頭遺跡
- (3) 夢村土城
- (4) 橋牟礼川遺跡
- (5) 山代二子塚
- (6) 柳之御所遺跡
- (7) Mesa Verde
- (8) Carnac stones

- 〔一〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について 解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

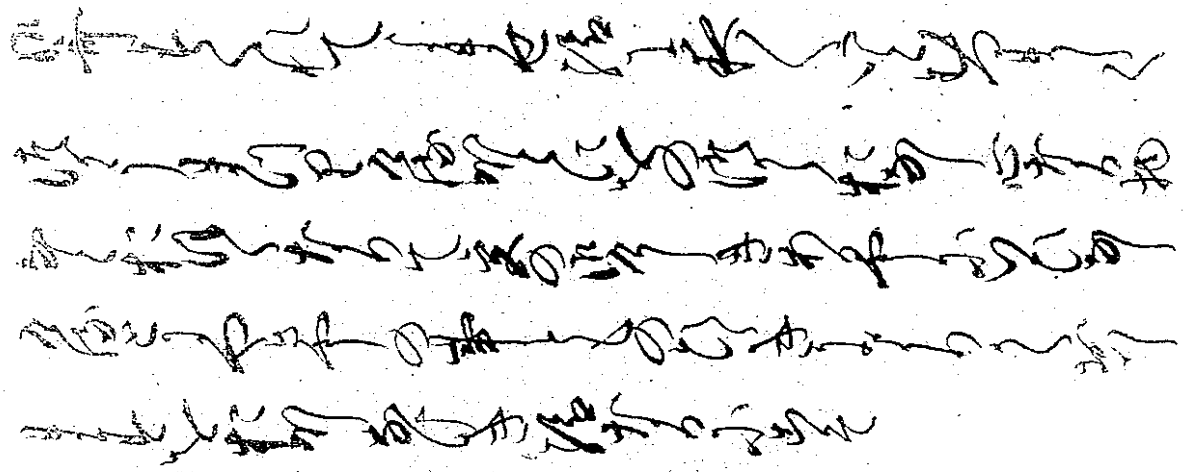
*又の年、東に心よからぬ事出で来て、中務のみこ都へ上らせ給ふ。何となくあはたたしきやうなり。御後見はなほ*時頼朝臣なれば、例の面白き事などはなけれど、宮は御子の惟康の親王に將軍をゆづりて、文永三年七月八日上らせ給ひぬ。

御下りの折、六波羅に建てたりし憎皮屋一つあり。そこにてはじめは渡らせ給ふ。いとしめやかに、引きかへたる御有様を、年月の習ひに、さうざうしうもの心細う思されけるにや、

A 虎とのみ用ゐられしは昔にて今は風のあなう世の中

*院にも^も東の聞こえをつつませ給ひて、やがては御対面もなく、いと心苦しく思ひ聞こえさせ給ひけり。*経任の大納言、いまだ下腐なりし程、御つかひに下されて、何事にかと仰せられなどして後ぞ、苦しからぬ事になりて、宮も土御門殿承明門院の御あとへ入らせ給ひける。院へも常に御参りなどありて、人々も仕うまつる。御遊びなどもし給ふ。雪のいみじう降りたる朝あけに、右近の馬場のかた御覧じにおはして御心の内に、

B 猶たのむ北野の雪の朝ばらけあとなきことにうづもる身は
世を乱らんなど思ひよりける武士の、この御子の



（『増鏡』より）

*又の年、東に心よからぬ事出で来て——文永三年（一二六六）に、関東で面白くない事件が起きて。「中務のみこ」（宗尊親王、鎌倉幕府六代將軍）が、正室の密通事件に関連して幕府転覆、謀反の疑いありとされ、京都へ送還された。*時頼朝臣——北条時頼。五代執権。*院——後嵯峨院。宗尊親王の父。*経任——中御門経任。鎌倉に使者として下向した。

- 問一 和歌Aの内容について、「虎」と「風」の含意するものを明確にして説明しなさい。
問二 傍線部①について、分かりやすく言葉を補って現代語訳しなさい。
問三 和歌Bについて、「北野」が指す所の性格を念頭に、どのようなことを願ったものか、詳しく説明しなさい。
問四 影印部分をすべて正確に翻字しなさい。なお、改行箇所は原文に従うこと。

三 次の資料は、安原貞室『かたこと』（慶安三（一六五〇）年刊行）の画像とその翻刻です。これを読んで、後の問いに答えなさい。（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

【画像】

唯一人の心を
 一人心の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を

唯一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を

一人の心を
 一人の心を
 一人の心を
 一人の心を

(<https://dglb01.ninjal.ac.jp/ninjaldd/katakoto/002/PDF/ktkt-002.pdf> 45)

【翻刻】

― 唯（ただ）といふべきを。たつた。たんだ

― さきにといふべきを。さつきに

― いちといふべきを。いつち

― ひとつといふべきを。ひとつ

― 前（まへ）にも云る。＊中／＼をなつかなかなかなつか

右（みぎ）いつゝのこと葉を。かやうにつめていふこと如何といふ人も侍り但うへより云つだけ。
又いきほひかりていふ時（とき）は。くるしからじといくども。いはぬにはしかじ。殊（こと）
に物（もの）に書（かき）つくべきことにあらず。頃（このころ）ある人の。べによりあかきたん
だ今（いま）。雲（くも）や霞（かすみ）のたつた今（いま）などいふ狂句（きやうく）したる
をき侍り。いかり侍らん。又仁王経（にんわうぎやう）を。にんなうぎやうとよみ本院（ほんゐ
ん）をほんにん。文屋康秀（ふんやのやすひで）をふんにやなどいふは。連声（れんじやう）と
てよきことばなり。又坂東（ばんとう）こと葉にや。ひたすら無理（むり）につめ。又話（つめ）
られぬ所（ところ）にては。この字（じ）などをそへていふやうなるはいかり侍らん。ある人の奴
婢（ぬび）をしかるとて。がつきめといくりしを。餓鬼（がき）とこそいふべけれと。老師（らう
し）は宣（のたま）へり

注 ＊引用箇所より前の部分で述べたということを指す。

問一 傍線部を、「この字」の指すところを明示し、適宜、言葉を補って、分かりやすい現代日本語に訳しなさい。

問二 この資料の例を引用しながら、次の①②について説明しなさい。

① 連声の史的変遷

② 助動詞「べし」の史的変遷

問三 日本語史から見たこの資料の特徴をあなたの観点から自由に設定し、説明しなさい。ただし、問二①②の事柄は除くこと。

三 次の文章は、堀辰雄の小説『窓』（一九三〇）の全文です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

《引用は『聖家族・美しい村 他七篇』（角川書店、一九五二）三二―三六頁》

（この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること）

或る秋の午後、私は、小さな沼を堰から完全に隔断してある、〇夫人の別荘を訪れたのであった。

その別荘に達するには、沼のまはりを通り越してある一本の小橋によるほかはないので、その秋の沼に落ちてゐるその影とともに、たゞず私の目の先にもりながら、私はなかなかそれに達することが出来なかつた。私が悲しながら何時のまにか夢見心地になつてゐたのは、しかしそのせゐばかりではなく、見えてゐたやうな別荘それ自身の風変わりな外見にもよるらしかつた。といふのは、その灰色の小さな建物は、どこからどこまで一面の蔭がからんでゐて、その繁茂の状況から推すと、この家の窓の縁は最近になつて一度も開かれたことがないやうに見えたからである。私は、さういふ家のなかに、數年前からたゞ一人きりで、不幸な眼疾を襲つてゐるといはれる、美しい未亡人のことを、いくぶん浪漫的に、想像するにはゐられたかつた。

さうして私は、私の突然の訪問と、私の携へてきた用件とが、さういふ夫人の静かな生活とを亂すだらうことを恐れたのであつた。私の用件といふのは、――最近、私の恩師であるA氏の遺作展覧會が開催されるので、夫人の所有にかかはるA氏の晩年の作品の一つを是非とも出品して貰はうがためであつた。

その作品といふのは、それが氏の個人展覧會に於いて毀壞された時は、私もそれを一度見ることも出来たものであるが、それは難解なものの多い晩年の作品の中でもことに難解なものであつて、その二重三重といふごく簡単な素題にもかかはらず、氏獨得の線と色彩とによる異常なメタモルフォーゼのために、そこに描かれてある對象のほとんど何物をも見分けることの出来なかつた作品であつた。しかしそれは、氏のもつとも自ら愛してゐた作品であつて、その晩年私に、自分の病を理解するための鍵はその中にある、とまで云はれたことがあつた。だが、何時からかその病の所有者となつてゐたり夫人は、何故かそれを深く秘藏してしまつて、その後われわれの再々見る機會を得なかつたものであつた。そこで、私は今度の氏の遺作展覧會を口實に、それに出品してもらふことの出来ないまでも、せめて一目でもそれを見たいと思つて、この別荘への訪問を思ひ立つたのであつたが、――

私は漸くその別荘の庭まで來ると、ためらひながら、そのベルを押した。

しかし家の中はしんとしてゐた。このベルはあまり使はれないので鳴らなくなつてゐるのかしらと思ひながら、それをためすかのやうに、私がもう一度それを押さうとした瞬間、扉は内側から機械仕掛で開かれるやうに、私の前にしづかに開かれた。

夫人に面會することすら殆んど絶望してゐた私は、私の名刺を通じると、思ひがけなくも容易にそれを許されたのであつた。

私の案内された一室は、他のどの部屋よりも、一そう薄暗かつた。

（四枚目／六枚中）

そして夫人は、私を促すやうに立ち上った。私はうす暗い廊下から廊下へと、私の方がかへつて眼が見えないかのやうに、夫人の跡について行つた。

急に夫人は立ち止った。そして私は、夫人と私がA氏の繪の前に立つてゐることに気づいた。その繪はどこから来るのか、不思議な、何とも言へず神秘的な光線のなかに、その内廊だか、部屋だかわからないやうな場所の、宙に浮いてゐるやうに見えた。——といふよりも、文字通り、そのうす暗い場所にひらかれてゐる唯一の「窓」であつた！そしてその横びであるこの世ならぬ光りは、その繪自身から發せられてゐるもののやうであつた。或ひはその窓をとおして一つの超自然界から這入つてくる光線のやうであつた。——と同時に、それはまた、私のかたはらに居る夫人のその繪に對する鋭い感受性が私の心にまで傳播してくるためのやうにも思はれた。

その上、私をもつと驚かせたのは、その超自然的な、光線のなかに、數年前私の見た時にはまったく気づかなかつたところの、A氏の青白い顔がくつきりと浮き出してゐることだつた。それをいま初めて發見する私の驚きかたといふものはなかつた。私の心臓ははげしく打つた。

けれども私には、數年前のこの繪に、さういふものが描かれてあつたとは、どうしても信ずることが出来なかつた。

「あつ、A氏の顔が！」と私は思はず叫んだ。

「あなたにもそれがお見えになりますか？」

「ええ確かに見えます」

その薄明にいつしか傾けてきた私の眼は、その時夫人の顔の上に何ともいへぬ輝かしい色の溜つたのを認めた。

私は再び私の視線をその繪の上に移しながら、この驚くべき變化、一つの奇蹟について考へ出した。それがこのやうに描きかへられたのでないことはこの夫人を信用すればいい。よしまた描きかへられたのにせよ、それはむしろ私達がいま見てゐるものの上に、更に線や色彩を加へられたものが數年前に私達が展覧會で見たものであつて、それが年月の流れによつて變色か何かして、その以前の下顔がおのづから現はれてきたものと置はなければならない。さういふ例は今までも少くはない。例へばセントレットの壁畫などがさうであつた。

——だが、それにしては、この繪の場合は、あまりに、日數が少なすぎる。數年の間にそのやうな變化が果して起り得るものかどうかは疑はしい。さうだとすると、それは丁度現在のやうに、夫人の驚くべき非感性によつてこの繪の置かれてある唯一の距離、唯一の照明のみが、その他のいかなる距離と照明においても見ることを得ない部分を、私達に見せてゐるのであらうか？

さういふことを考へてゐるうちに、私にふと、A氏はかつてこの夫人を深く愛してゐたことがあるのではないか、そして夫人もまたそれをひそかに受け容れてゐたのではないか、といふ疑ひが音んだん雨して來た。

それから私は深い感動をもつて、私の前のA氏の傑作と、それを見入つてゐることと思はれる〇夫人の病める眼とを、かはるがはる眺めたのである。

問一 「私」の「〇夫人」に対する印象は、どのように変化していますか。その移り変わりを説明しなさい。

問二 この小説において「窓」という語が持つてゐる意味を説明しなさい。

問三 堀辰雄という作家の文学史上の位置について、知つてゐることを説明しなさい。

(六枚目／六枚中)

令和7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻（基盤日本語学受験分野） 筆記試験

【問題用紙は2枚です。】
（1枚目/2枚中）

[1] 次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
出典：Tannen, D. (1984) *Conversational Style: Analyzing Talk Among Friends*. Norwood, NJ: Ablex. pp.1-2（下から13行目まで）。

- 問1 下線部の‘double bind’とはこの文章ではどのようなことを指しているか、文章の内容に即して述べなさい。
- 問2 この著者の言う conversational style とはどのようなものか、5行程度でまとめなさい。
- 問3 あなたの研究にとって conversational style はどのような意味をもつか、あるいはそれを考慮に入れなくても研究は成り立つか。自身の研究テーマについて述べた上で論じなさい。

[2] 次の14項目のなかから 5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。
解答言語は日本語とします。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| (1) 補助動詞 | (8) 言語地理学 |
| (2) 格助詞 | (9) 相互行為能力 |
| (3) 語彙化 | (10) ジェンダー |
| (4) 同格構造 | (11) イントネーション |
| (5) ことばの民族誌 | (12) 音節構造 |
| (6) 一段動詞の五段化 | (13) 位相語 |
| (7) ダイグロシア | (14) 統合関係(シンタグマティックな関係) |

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを 5つ挙げ、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。解答言語は日本語とします。

令和 7（2025）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻（美学受験分野）筆記試験
〔問題用紙は 2 枚です。〕
（1 枚目／2 枚中）

すべて日本語で解答しなさい。
解答の文字数は問いません。
長文になるときは段落ごとに内容を整理すること。

問 1 次の 8 つの語のうち 2 つの語を選び、それぞれについて、その語の意味を確認したうえで、その語によって何が問題になってきたか、何が問題となりうるのかについて論じなさい。（20×2=40 点）

非美的性質	注意	美的価値
アイロニー	崇高	トークン
反意図主義	アール・ブリュット	

問 2 別紙の文章は、20 世紀後半に発表された美学の 2 つの重要な論文がそれぞれどのような方法論を採用しているのかについて解説しています。別紙の文章の概要を簡潔にまとめた上で、取り上げられている 2 つの論文の方法論に共通する特徴について説明してください。また、その共通する特徴の問題点についてあなたの考えを述べてください。（20 点）

出典 Dominic McIver Lopes, Samantha Matherne, Mohan Matthen, and Bence Nanay, *The Geography of Taste* (OUP, 2024), p.19, l.22 -p.20, l.20.

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

問 3 生成 AI は芸術的創造性を持つか否か、あなたの考えを述べなさい。そのさいには、まず「芸術的創造性」についての定義を行ったうえで、生成 AI を用いて実際に行われた制作の事例をふまえて議論してください。（40 点）

令和7（2025）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（音楽学受験分野）筆記試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目/3枚中）

問1 次の英文を日本語訳しなさい。[配点30点] 出典：Matt Sakakeeny, “Music”, in David Novak and Matt Sakakeeny (eds.), *Keywords in Sound*, 2015, Duke University Press, p.112, ll.9-21

（問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。）

(2 枚目／3 枚中)

問2 次に掲げる文章を読んで、あなたの研究対象または関心のある対象について、ナティエの概念を使用しながら論じなさい。[配点 40 点] 出典：徳丸吉彦 『ミュージックスとの付き合い方——民族音楽学の拡がり』、東京：左右社、2016 年、p.279, 1.4-p.281, 1.1

(問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。)

(3枚目／3枚中)

問3 次の英文を和訳しなさい。なお、文中のMaramureș はルーマニアの「マラムレシュ」、Ugocsaはかつてのハンガリー王国の「ウゴチャ」を指し、いずれも地名です。

[配点30点] 出典：Viola BIRÓ, “Bartók and the Violin Music of Maramureș”, in *Studia Musicologia* 62 (2021)1-2, p.85, Abstract.

(問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。)

令和7(2025)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・冬期試験) 入学者選抜試験問題
芸術学専攻 (演劇学受験分野) 筆記試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 以下の6つの語すべてについて、それぞれ解答用紙5行以内の日本語で説明しなさい。

- (1) 『詩学』 (2) コンスタンチン・スタニスラフスキー (3) ダムタイプ (Dumb Type)
(4) 物狂能 (5) 三人遣い (6) 生世話物

問2 選択問題です。近現代演劇(西洋演劇)研究志望者は設問1、伝統演劇(芸能史)研究志望者は設問2を選んで解答してください。

設問1)問題用紙2枚目は、Richard Schechner, "The Broad Spectrum of Performance", *Performance Studies: An Introduction*, 4th edition (London and New York: Routledge, 2020), p.82, l.20 - p.83, l.18の文章です。これを読み、次の問題に日本語で答えなさい。

- (1) 下線部 b、d を和訳しなさい。
(2) 下線部 a について、なぜ筆者は『スターウォーズ』を例に挙げているのか説明しなさい。
(3) 下線部 c の用語について、関連する日本の演劇人を挙げた上で説明しなさい。
(4) 下線部 e とはということか、任意の具体例を挙げて説明しなさい。

設問2)問題用紙3枚目は、『法音抄』巻五、六丁ウ・七丁オ(法政大学能楽研究所編、能楽資料集成8『法音抄Ⅲ』わんや書店、1978年、18頁9行目～19頁9行目)より能《百万》の詞章「南無や大聖釈迦如来我子にあはせ狂気をもとゞめ安穩に守らせ給ひ候へ」に対する注釈文の一部です。これを読み、次の問題に日本語で答えなさい。

- (1) 任意の翻刻凡例を示し、全文を翻刻しなさい。
(2) 全文を現代語訳しなさい。
(3) 本文に即すと百万はどのような状況にある人物と考えられるか、翻刻した本文を引用しながら説明しなさい。

問3 戯曲におけるキャラクター設定とそれを演じる俳優の人種、民族、ジェンダー等の特徴が必ずしも一致しない配役、いわゆるダイバースキャスティング、ノントラディショナルキャスティングについて、任意の具体例を挙げ日本語で自由に論じなさい。

(2枚目/3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Richard Schechner, "The Broad Spectrum of Performance", *Performance Studies: An Introduction*, 4th edition (London and New York: Routledge, 2020), p.82, l.20 - p.83, l.18

(3枚目/3枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
『法音抄』巻五、六丁ウ・七丁オ（法政大学能楽研究所編、能楽資料集成8『法音抄Ⅲ』わ
んや書店、1978年、18頁9行目～19頁9行目）

令和7（2025）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（日本東洋美術史受験分野）筆記試験

〔問題用紙は4枚です。すべて日本語で答えなさい。〕

問1 以下の用語のうち4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。

〔配点20点〕

- 1) マーク・ロスコ
- 2) 《絵画芸術の寓意》（フェルメール）
- 3) フェミニズム美術史
- 4) 撥鏤
- 5) 誕生仏
- 6) 本朝画史

問2 別紙1の問題に答えなさい。〔配点28点〕

問3 別紙2の問題に答えなさい。〔配点12点〕

問4 別紙3は原田直次郎筆「騎龍観音」（1890年、護国寺蔵）です。図様を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの作品の魅力について述べなさい。〔配点40点〕

別紙 1

問 次の文は、『日本書紀』推古天皇十四年（国立国会図書館デジタルコレクション『秘籍大観』巻第二十一・二十二）の一節です。これを読んで後の設問に答えなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

問一 傍線部 1（時佛く入堂）、傍線部 2（即賜く尼寺）を書き下しなさい。

問二 「五月甲寅く汝之功也」の大意を日本語で記しなさい。

問題 左図は沢庵宗彭（一五七三〜一六四六）賛・松花堂昭乗（一五八二〜一六三九）画「朝陽図」（個人蔵）です。賛の全文を翻刻しなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

← 賛 部分

全図 →

3 枚目／4 枚中

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

令和7（2025）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・冬期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻（西洋美術史受験分野） 筆記試験

[問題用紙は4枚です。]

（1枚目/4枚中）

問1 以下の用語の内4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。[配点20点]

1) 撥鏤

2) 誕生仏

3) 本朝画史

4) マーク・ロスコ

5) 《絵画芸術の寓意》（フェルメール）

6) フェミニズム美術史

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。[配点40点]

* 出典：Stephen Bann, “Imitation or Substitute? The Dilemma of Reproduction in Western Art,” in Shigetoshi Osano, ed., *Between East and West: Reproductions in Art* (Cracow: IRSA, 2014), p. 32

問3 問題用紙3-4枚目にある2点の画像AとBを見て、それぞれの建築のおおよその制作時期と制作地域、また可能であれば建物の名前と設計者についても所見をのべなさい。そのうえで2点の作品を比較し、それぞれの芸術様式について美術史的に重要と思うことがらを論じなさい。[配点40点]

(2枚目4枚中)

別紙は著作権等に配慮し、省略します。

(3 枚目/4 枚中) 画像 A

別紙は著作権等に配慮し、省略します。

(4 枚目/4 枚中) 画像 B

別紙は著作権等に配慮し、省略します。